

ボランティア活動に関する実態調査 集計結果

※令和7年10月12日(日)市民活動フェスティバルにて実施

Vグループへの所属	回答数	回答割合
1 所属あり	62	62%
2 所属なし	37	37%
3 未回答	1	1%

合計 100

性別	回答数	回答割合
1 男性	30	30%
2 女性	69	69%
3 その他	1	1%
4 未回答	0	0%

合計 100

年齢	回答数	回答割合
1 19歳以下	4	4%
2 20～34歳	4	4%
3 35～49歳	5	5%
4 50～64歳	19	19%
5 65～79歳	51	51%
6 80歳以上	17	17%
7 未回答	0	0%

合計 100

職業	回答数	回答割合
1 自営業・会社員	18	18%
2 パート・アルバイト	6	6%
3 主婦	38	38%
4 学生	4	4%
5 退職者	21	21%
6 その他	13	13%
7 未回答	0	0%

合計 100

V活動年数	回答数	回答割合
1 未経験	26	26%
2 2年未満	11	11%
3 2～5年未満	10	10%
4 5～10年未満	14	14%
5 10～20年未満	23	23%
6 21年以上	13	13%
7 未回答	3	3%

合計 100

主な活動内容（複数回答可）※Q5で未経験と回答した者、未回答の者を除く（71名）	回答数	回答割合
1 在宅福祉活動	5	5%
2 相談・訪問・交流活動	12	11%
3 上演・演奏活動	6	6%
4 手話・朗読・点訳活動	9	8%
5 スポーツ・レクリエーション活動	12	11%
6 募金活動	5	5%
7 環境活動	8	7%
8 文化・伝承活動	7	7%
9 国際交流・国際協力活動	5	5%
10 地域活動	24	22%
11 その他	12	11%
12 未回答	2	2%

合計 107

主な活動対象（複数回答可）※Q5で未経験と回答した者を除く（71名）	回答数	回答割合
1 高齢者	35	39%
2 障害児・者	16	18%
3 児童	15	17%
4 その他	20	22%
5 未回答	4	4%

合計 90

ボランティア活動の良さだと思う点（複数回答可）	回答数	回答割合
1 新たな仲間ができる	52	20%
2 活動自体が楽しい	24	9%
3 自分自身の生きがいを得ることができる	42	16%
4 活動対象者や活動先から感謝される	24	9%
5 社会の為に役立つことができる	29	11%
6 新しい知識・技術を習得することができる	32	12%
7 自分自身の健康や体力が増進する	25	10%
8 行政や所属する学校・職場等で評価される	8	3%
9 特にない	0	0%
10 その他	23	9%
11 未回答	2	1%

合計 261

ボランティア活動に関して課題・問題だと思う点（複数回答可）	回答数	回答割合
1 行政からの支援が不十分	25	18%
2 社会福祉協議会の指導力・支援が不足している	7	5%
3 活動に必要な知識や技術を習得する機会が得られない	10	7%
4 活動中の事故が心配である	8	6%
5 活動と仕事、家事、家業等との時間的な調整が難しい	7	5%
6 活動の心理的な負担が大きい	19	13%
7 活動の体力的な負担が大きい	8	6%
8 家族の理解が得られない	1	1%
9 活動の受入れ先がない	5	4%
10 活動のための経費が確保できない	6	4%
11 特にない	28	20%
12 その他	5	4%
13 未回答	13	9%

合計 142

今後のボランティア活動に対する意向（複数回答可）	回答数	回答割合
1 現在の活動を続けたい	64	55%
2 現在の活動回数を増やしていきたい	10	9%
3 活動をやめたい	0	0%
4 新たな活動に取り組みたい	23	20%
5 やりたくない	3	3%
6 その他	5	4%
7 未回答	11	9%

合計 116